市議会での担当委員会は、産業建設委員会

委員会の所管一覧 所管事項

- ○農政·林業·農林土木·中山間地対策· 農畜産振興·農業支援センターに関する事項
- ○商工振興・観光事業・雇用対策・勤労青少年ホーム 観光情報センターについて
- ○水産振興・漁港について
- ○国土調査について

- ○一次六次産業の人材育成・フィールド教育の推進 高等教育機関の誘致について
- ○農業委員会に関する事務について
- ○道路·橋梁·河川·用地·工業等技術管理について ○都市計画·公園緑地·下水道·浄化センターについて
- ○市営住宅・建築設備・建築指導について
- ○水道事業の管理・運営について

活動日誌

11月 3日	
11 0	吉田秋祭り
11月 5日	自民党宇和島支部総会 市議会産業建設委員会所管施設視察研修
	宇和島市水産技術センター 視察
	産業未来創造室 視察
11月 6日	宇和島市企業会計決算審査特別委員会
11月 7日	
11月 8日	
	総務委員会所管分 厚生委員会所管分
11月10日	序工女員云が巨力 第24回宇和島市産業まつり
,,	第13回三間町隣保館まつり
11月11日	宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会
	産業建設委員会所管分
	教育環境委員会所管分
11月12日	議員研修会 九島架橋工事現場
	八岳朱橋工事現場 屎尿処理施設工事現場
	广内研修 建設部
	九島架橋事業について
	急傾斜事業について
	がけ崩れ防災対策事業について
	土砂災害危険箇所について 庁内研修・水産課
	漁港整備事業について
	地域水産物供給基盤整備事業
	漁村再生交付金事業
	水産物供給基盤機能保全事業
	漁港施設機能強化事業
11月13日	漁港海岸保全事業 市議会産業建設委員会所管施設等視察研修
117 130	では では では では では では では では では では
	愛媛県 農林水産研究所 果樹研究センター みかん研究所
11月16日	宇和島市民合唱団第37回定期演奏会
11月17日	三浦リレーマラソン(欠席)
	堀尾正明氏講演会(欠席)
	菊地県議 勉強会 「第二国土軸構想」について 宇和島市議会意見書提出
	「青少年健全育成基本法の早期制定を求める意見書」
	宇和島市戦没者戦災被災者合同追悼式
	宇和島市議会自民党議員会 「市長陳情」について
	自民党宇和島支部会 党員拡大について
11月22日	市議会自民党議員会勉強会
11 日 24 日	「大浦埋立地の利用」について 心の健康づくり講演会
11月27日	
,5=. =	宇和島法人会新規入会者のつどい
11月28日	自民党県連党員研修会
	市子育で講演会 引きつけについて 桑折小児科院長
12月 1日	
128 20	宇和島市民ミュージカル「はまゆう年代記」 市議会全員議員協議会
12月 2日	中議会主員議員協議会 九島架橋事業の進捗状況について
	木屋旅館の登録有形文化財(建造物)登録について
	宇和島地区広域事務組合事業報告
	①熱回収施設について
10.5	②汚泥再生処理について
12月 4日	
12月 7日 12月 8日	
.213 00	毎中のうわいま 小田蓮庫

歴史のうわじま 公開講座

近藤俊文先生

「慶応3年伊達家文書から見た四候会議、大政奉還、王政復古」

12月10日 (公社)宇和島法人会 第3回理事会 12月11日 市議会 本会議一般質問 12月12日 市議会 本会議一般質問 12月13日 市議会 本会議一般質問(武田元介 登壇) 12月16日 市議会 産業建設委員会(武田元介所属委員会) 市議会 教育環境委員会 12月17日 市議会 総務委員会 市議会 厚牛委員会 12月18日 宇和島青年会議所シニアクラブ 第4回例会 12月20日 市議会 本会議 市議会 全員議員協議会 公民館主事嘱託化について 都市再生整備計画事業(宇和島駅前整備事業)について 白民党市議団議員講 12月21日 愛媛県トライアスロン協会 理事会・講演会・忘年会 鈴木貴里代氏講演(オリンピック審判員) 12月22日 愛媛国体デモンストレーションスポーツ ダブルダッチ講習会 第3回クリスマスチャリティーコンサート(児童福祉援助活動) 12月27日 宇和島青年会議所理事長慰労会並びに激励会 12月29日 毛利修三県議 忘年会 宇和島市成人式 1月 2日 1日 5日 津島 なっそ蔵出し 1月 6日 宇和島商工会議所 新年賀詞交歓会 関係諸機関年始回り 自民党議員会月例勉強会 国土調査結果の固定資産税への反映について 都市再生整備計画事業(字和鳥駅前整備事業)について 1月19日 南予マラソン 参加 和霊校区人権を考える集い 「私を育ててきたもの」愛媛県人権教育協議会 米田代表幹事 1月20日 和鳥観光協会 観光キーパーソン集会 「新時代の観光戦略」 松山市 観光·国際交流課 瀬戸内·松山構想担当課長 織田氏 自民党議員会総務会打ち合わせ 1月23日 自民党宇和島支部全昌議昌協議会 行政への要望事項(中長期)について 1月25日 山本公一代議士 平成26年賀詞交換会 1月26日 津鳥しらうお&産業まつり 自民党宇和島支部全員議員協議会 1月27日 えひめファンづくり推進事業説明会 1月29日 障害者就労支援打ち合わせ 宇和島じゃこ天倶楽部(いちご特集) 1月30日 愛媛県 南予地方局商工観光室長 仙波氏 南予地方局産業経済部長 中矢氏 1月31日 第8回宇和島市人権・同和教育研究大会 「伊予の宇和島伊達舞台」市川猿之助歌舞伎公演





九島架橋丁事現場





平成26年賀詞交換会

文 数 会



- 津島しらうお&産業まつり

活動報告

11月8日 宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会

総務委員会所管分 厚生委員会所管分

国民健康保険料の収納率について質問いたしました。各種医科・歯科検診の委託料と支払い報酬の切り分けについて質問いたしました。京都市で判決が出て、問題になっている支払い報酬の事例と同一の要件のものでないか?という点です

11月12日 議員研修

九島架橋と屎尿処理施設の工事現場を視察した後、建設課と水産課から説明を受けました。

新人ですので、いろいろと説明を受けてきたのですが、今の公務員さんは、結果的に交付税措置や補助制度等々、有利な借り入れ方法、上手 く使えるお金の調達先、その辺りに詳しい人が出世していくのかなと感じました。

九島架橋について

離島補助経費内訳=九島に橋が架かることによって削減できる経費は、おおよそ下記の通りです。

航路補助費(新造船の建造補助・修理費用補助も含む)50年で案分 年額3226万9千円(架橋によりOに)

ごみ処理等委託料 年額250万円(架橋により大幅削減) 通学補助金(中学)年間180万円(架橋により大幅削減)

小学校給食運搬費 年間149万円(26人の生徒 平成25年5月1日)(九島航路で運んでいた給食を橋で運べるので、大幅削減)

九島診療所経費 年間850万円(常勤医1名 看護師2名)(架橋とともに閉鎖のため0に)地元了解済み

幼稚園運営経費 年間1220万円(9人の園児 平成25年5月1日)(架橋とともに閉鎖したとして0に)地元了解済み

24年決算額を基に 50年間で、29億3343万7千円の経費削減ができる。

また、施設建設費(古くなった施設の改修が必要となる)

具体的には、診療所・幼稚園の建設費として 4842万6千円

以上の合計で50年間の間に29億8186万3千円①の経費削減ができるとのことです。ちなみに、年間平均で、5963万3千円の削減となります。橋梁と取付道路の工事額合計が、85億2230万円で、社会資本整備の交付金が55億8千万入りまして、残額を辺地債※で借り入れると、実際に返すお金は、2割ですみ、金利を入れても宇和島市の負担は6億2200万円で済むとのこと。上の①と比較すると、宇和島市にとってどんな投資なのかが理解できます。工事の請負企業には、地元企業も含まれ、地元住民の利便性向上の便益を加算せずとも、投資効果は評価できます。経費削減効果のみで、29億8千万の効果が見込まれるのです。この辺りを12月議会で質問して市民の皆さんに広く知っていただこうと思っていましたが、時間が足りず3月議会で時間をいただきたいと思います。

※辺地債とは

辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図ることを目的として行われる公共施設の整備や情報通信基盤整備等に対して充当される地方債(Wikipediaより)

11月19日 自民党議員会

市長要望について

主に、来年の当初予算への提案になる「会派からの要望」の審議をいたしました。旧一市三町の自民党支部ごとにとりまとめた要望を自民党議員会(市全域)の要望としてとりまとめました。いよいよ、予算に関わっていける機会ということになるのです。最大会派として、きっちりと要望の行く末を皆で見届けることもさることながら、単年度で、しかも、市長決裁で、市単独でもやれることを中心に要望しておりますので、市政の方向性を見る上では、とても大切な当初予算です。各支部の要望を共通する部分は全体の要望として、地域特性のある要望は、支部ごとの要望として取りまとめたものです。要望の内容と、行政側の返事については、1月30日に「平成26年度における自民党議員会の重要施策及び各支部要望事項一覧」のアップロードしております。中長期の政策提案的な市長要望は別途で行います。

1月17日 自民党議員会勉強会

○国調結果(土地を測量して、地積の確定)と課税標準について

土地の固定資産税及び都市計画税につきましては、登記簿記載の地積(登記地積)により評価して課税を行うことが原則です。当市では地籍調査後に地積が増加した場合、例外的な取り扱いとして調査前の地積で課税しています。また、合併した旧市町の帰属によって、課税基準に差異があり、現状、課税の不公平というものが存在します。一方、県内でも多くの地域において、地籍調査がすすみ、税負担の公平性の観点から、原則どおり、地籍調査終了後の登記地積による課税を行うこととする市が増えております。当市でも現在国土調査が終了している土地について、調査後の地積にて固定資産税の課税を行って欲しいと思いました。その観点から、国土調査を進めたりその結果で地積が多かった場合に、所有者の税負担の増加を理解納得いただくための人員配置を提案致しました。

また、固定資産税の課税標準の変化による税額の増減は当然に守られるべき原則でありまして、未完了地は仕方ないとしても、国土調査完了地も調査前の地積で課税していることが例外的な措置であることを確認して、税額の増額分を新たな地域の国土調査に充てることで、進捗率を上げて、正しい姿に変えていこうというものですから、より積極的な取り組みを求めました。例えば、「上げる」のではなくて、「上がる」のであり、結果によって「下がる」のであります。

○駅前再開発のコア施設としての複合施設について

「図書館」「子育て支援センター」「生涯学習センター」「観光情報センター」等、様々な施設機能をまとめて、一つの建物にして、国庫補助や有利な起債による資金を活用して地元負担を安く建ててしまおうというものです。ここでの問題は、複合施設の規模・スペースの配分もさることながら、現状の占用権の収用等について、今回の補償が、駅前かどやさんから川下の補償のメルクマールになりますので、テナントスペースの採用など設計過程から情報交換を密にしてもらうことなど意見を述べました。

1月30日 宇和島じゃこ天倶楽部

行政を交えた、異業種交流で地域を活性化しようという集まりです。今回は、鬼北・津島地域で多く栽培されている「苺」を中心に交流がありました。東京のデパ地下で買ってきたという栃木県のイチゴとをデジタルの糖度計で、甘み比較もありました。(写真)友人の赤松さんのイチゴが、栃木産を撃破致しました。元ミカン研究所の研究職の方も来られて、いろんな話が聞けました。気になったことは、今回、市の職員さんが見えなかったこと。このことについても、仲間内、つまり主催者サイド・愛媛県南予地方局の方の意見は聞きましたので、宇和島市役所側の考えを聞かせて欲しいと思います。

後援会討議資料